

こんな風に

今瀬剛一

押し出してなほ押してをり五月場所

摘草を重ねて色を濃くしたり

面倒くささうに藤房は吹かれ

こんな風にと椿落つ仰向けに

紫陽花の初めの色は漂へり

重たくて煙たき栗の花咲けり

歌垣といふ昔あり花あざみ

青梅の樹を打つ顔のひりひりす

涙拭ふハンカチの花咲きにけり

傷みとは泰山木の花汚れ

青葉闇灯して己れ浮き立たす

誰も誰も遠くに去りて草の罨

牡丹多彩に座布団が敷いてあり

髭を剃り爪切り揃へ梅雨に入る

匙を入れて氷を崩す星逢ふ夜